

## 小学校の総合学習での行政との協働事業 奈良市 eco キッズの事例

記入日：2015 年 6月30 日  
奈良市まほろばシェアリングネイチャーの会 山本 素世

### 1. はじめに

奈良市では、2013年度より環境教育基本計画にもとづき、小学3年生を対象とした地球温暖化防止を中心とした環境学習が行われることが決まった。その際に、NPOなどの市民団体と協働事業として行うこととされ、これまで奈良市地球温暖化防止地域協議会の環境出前講座で実績をあげていた4団体が、協働事業の相手先として選ばれた。奈良市まほろばシェアリングネイチャーの会も、例年出前講座の3分の1程度を占めているため、奈良市環境政策課から声を掛けられ参画することとなった。

2013年度は、事業の立ち上げから参画し、学校での授業実施も担当した。2015年度で事業は3年目を迎えており、引き続きこの協働事業に参画している。

### 2. 実践内容

#### 協働に至る経緯

0 本会は、奈良市地球温暖化推進地域協議会（事務局 奈良市環境政策課内）に参画しており、環境教育プロジェクトのメンバーである。同プロジェクトでは、環境教育を推進するために、環境出前講座という活動をしている。本会は、この環境出前講座にネイチャーゲームを活用して温暖化や環境について考えるというメニューをだしており、幼稚園や小学校からネイチャーゲームの依頼を受けて実施してきている。その実績により本会与奈良地球温暖化防止推進センター、NPO法人宙塾、サークルおてんとさん、の4団体が、この事業の相手として選ばれた。

#### eco キッズ事業

この事業は、2013年4月に急きょ事業化され、奈良市の全小学校（47校）の3年生全員を対象として6月より実施されることが決定された。3年生の総合の時間のうち1時限（45分）があてられ、クラス単位での実施であり、共通プログラムと個別プログラムからなる地球温暖化防止について学び、日常の実践を促すことを目的としている。共通プログラムは、奈良市教育委員会と奈良市環境政策課が、地球温暖化防止についての説明を20分程度のパワーポイントで作成した。この内容について、われわれ参加団体も小学生の対応、温暖化に関する専門的所見などから意見を述べて修正案をつくっていった。

また、個別プログラムについては、4つの団体からおよそ20分前後のアクティビティを提案することとなった。本会では、奈良市では、山間部に少人数の学校があること、これまでの出前講座で3年生に実施して反応がよかったものなどから、「ノーズ」「動物ヒントリレー」「ネイチャービンゴ」の3つを提案した。

各団体より、教育委員会、環境政策課にプレゼンテーションを行い、本会では、3つのプログラムが全て承認された。2013年は、47校中17校を担当することとなった。

事業の途中で、実行委員会が開催され、改善点やスケジュールなどを協議してきた。年度末には、次年度に向けて協議が行われ、我々の意見も反映されてきた。

2014年度は、実施団体が6団体に増えたが47校中10校であり、2015年度は実施団体数6で、46校中10校の実施である。

なお、2014年度から、プログラムをネイチャーループに変更している。

ecoキッズ実施一覧			
2013年	実施校数17校	学校総数47校	実施団体数4
ノーズ	4校		
動物ヒントリレー	7校		
ネイチャービンゴ	6校		
2014年	実施校数10校	学校総数47校	実施団体数6
動物ヒントリレー	6校		
ネイチャーグループ	4校		
2015年	実施校数10校	学校総数46校	実施団体数6
動物ヒントリレー	4校		
ネイチャーグループ	6校		

### 実施例

事前に、小学校の担当教員に連絡を取り、プログラムについて説明をする。また、個別プログラムについては、手順、内容の詳細についても打ち合わせた。

打合せ時に計画書案だけでなく、シェアリングネイチャー協会の総合案内や SNL、小学校向けの本のチラシ（日本協会作成）などの案内資料を持参し、先生に渡して説明した。打合せ後に学校へ計画書を提出している。また、授業の終了後は、奈良市環境政策課に報告書を提出する。

3年生ということで、各プログラムでは、以下の点に注意した。

#### ○ノーズ

3年生は、昆虫を学ぶので、クワガタやチョウなどを取り入れた。出すヒントについても、「頭、胸、腹がある」など学校でならうことを入れるようにした。

また、共通プログラムにホッキョクグマがでてくるので、クマをいれ、温暖化の影響をヒントに取り入れた。

#### ○動物ヒントリレー

いくつか試した結果、最終的に温暖化の影響が児童にわかりやすい点、3年生は昆虫を学ぶ点も考慮してクマ、カメ、ペンギン、クワガタとした。ヒントにはまた温暖化による影響(氷の上で餌をとる、砂浜に卵を生むなど)を入れるようにした。答え合わせの時に、そのヒントをピックアップして、どのような影響があるのか説明するようにした。また、答え合わせも、人数や時間によって授業にあわせたスタイルを取り入れるようにした。

グループには、普段学校でされている班（生活班）を活用した。

やりかたは、説明を掲示し、デモをしながらわかりやすく伝える。DVD教材にあるクマをいれて、アクティビティとのつながりを持たせている。

#### ○ネイチャービンゴ

3年生の学習やこれまでの学習の内容を鑑みて、4つのテーマを「校庭の植物」「校庭の生き物」「節電対策」とし、最後は、「奈良の特産品」「旬の食べ物」から選んでもらうことにした。奈良市では、3年生に社会見学で特産品の工場見学があること、学校給食に奈良の特産野菜を取り入れていることから選んだ。

各ヒントのくじについては、学校の先生と打ち合わせて、実際に学校にあるものや季節を配慮するようにした。

また、全員がくじをひけるように、節電対策、奈良の特産品、旬の食べ物は、こちらできめた項目から選んで、カードに移してもらうようにして、書くのに時間がかからないような工夫をした。

## 2014 年度

実際にやってみて、時間や児童の反応、教員アンケート結果を鑑みて、個別プログラムを、動物ヒントリレー、ネイチャーループとした。

また、共通プログラムも一部修正された。

### ○ネイチャーループ

カードを人数に合わせて、あらかじめ調整した。DVD 教材の 2 枚目のスライドで自然界のつながりをイメージしてもらう。実施の際には、色々なつながりを説明し、悩んでいるようなら声掛けをしてうながす。輪ができたら欠けるとどうなるか、輪が上手くできない場合は何があればいいかを考えてもらう。

人間のカードを入れておき、人間の生活もつながりがあり影響していることを話す。

なお、2014 年度に隣の生駒市よりエコキッズ生駒のモデル校への実施の依頼をうけて、1 校実施した。奈良市でのプログラム実施時に、生駒市より視察が来ており、気に入ってもらえたからである。

## 2015 年度

現在、動物ヒントリレー、ネイチャーループで実施中である。

本年度 5 月のリーダー養成講座奈良会場で、リーダーとなった女性 2 名が参加してくれている。なお、昨年と同じ小学校からリクエストがくるなどリピーターもみられている。

また、生駒市でもエコキッズ生駒が実施されることになり、動物ヒントリレーとネイチャーループが採用されている。

## 0. 成果と課題

- ・ 成果・行政（奈良市環境政策課、奈良市教育委員会）との協働事業において、企画段階から参画でき、3 年目をむかえている。
- ・ 行政から信頼を得られ、奈良県 S N 協会の代表者名義で、奈良市環境教育推進委員会の委員に委嘱され、奈良市の環境教育行政に参画している（現在 2 期目）。
- ・ 全国世界遺産学習サミット（2014 奈良市）でこの事業について発表する機会が得られた。
- ・ 奈良市環境教育推進員の応募条件の資格にネイチャーゲームリーダーが取り入れられた。
- ・ 奈良市の教員向けの広報誌（やまと、財団法人奈良市教育振興会発行）に、2 回（各 4 ページ）でネイチャーゲームの紹介ができる機会を得た。
- ・ 昨年度から隣接する生駒市の同じ事業 eco キッズいこまへ参画できた。
- ・ ネイチャーゲームの普及において、奈良市内での周知がすすめられた。
- ・ クラスごとの実施であるため、同じアクティビティを何度も実践することになり、よりよくしていくための話し合いをたくさんすることができた。一つ一つのアクティビティを深く追求していく結果となり、アクティビティやシェアリングネイチャーについて、理解を深めることができた。掲示物にも工夫した。
- ・ 新しくリーダーになった人たちが参加していく活動として活用できた。地域の会のメンバーになってくれた。2013 年度 1 名、2014 年度 1 名（2 名）、2015 年度 2 名（4 名）であるが、もともとリーダー養成講座の奈良参加者が少ないため、2013 年度 100%、2014 年度と 2015 年度は 50%の参加率である。

## 課題

- ・ この事業がいつまでつづくかわからない
- ・ 行政の担当者がかかわると考えがかわるので、協働相手も変更される可能性がある。

- ・スムーズに運営していくためにはメンバーの連携や組織体制を強化していく。
- ・さらによりいいメニュー開発について、常に気をくばる。
- ・このような事業が県下で実施されるのであれば、営業して参画し、県協会の事業としてうけられたら、県下のリーダーの活動の場にできると思われる。

## 0. 本報告を参考にされる方へ

### ○行政との関係づくり

本事例では、行政との関係がうまくつくれたことが、重要なポイントであった。奈良市地球温暖化防止地域協議会へは、最初は個人会員として参加し、地域の会は協力という体制であった。環境出前講座が増えてうまくいくようになってから、団体会員として参加している。

団体として、いきなり参加が難しい場合は、個人から参加していくのも有効と考えられる。また、協議の場で、何が事業の目的でどのような貢献ができるのかという点にも気をくばりなおかつ自分たちの意見も述べていったことが、行政に信頼をえられたのではないかと考えられる。

### ○学校との関係づくり

実施にあたり、事前に学校を訪問して事業の内容やプログラムについて細かく打ち合わせ、授業の流れを確認していったのが、当日の実施をスムーズに進められた要因と考えられる。掲示物にも工夫し、児童がわかりやすいようにした。

また、3年生の授業ということで、3年生で学ぶことをプログラムでの話やヒントにとりいれることで、先生方の共感を得られたと思う。当日も、授業の始まりや終わりの挨拶をいつもどうりにしてもらったり、教室に貼ってある標語やスローガンなどを話に取り入れて、普段の授業とのつながりを出すようにしたのも学校側に受け入れられるのによかったと思われる。

## 0. 活動写真



動物ヒントリレー (2014年)



ネイチャービンゴ (2013年)



ネイチャーループ (2014年)

以下、小見出しと記入欄の例を素材として載せています。必要に応じてご活用ください。

## 0. 活動を取りまく主な関係団体とその役割

主な関係団体	主な役割
奈良市環境政策課	事業全体のコーディネイト、学校との連絡窓口
奈良市地域教育課	共通プログラムの作成、事業への意見提出
奈良市教育委員会	共通プログラムの監修、学校への周知、校長会への説明
奈良市地球温暖化防止地域協議会	環境出前講座の推進による3年生以外への実施希望への対応。
奈良地球温暖化防止推進センター	実行委員会の委員として、ともに協議、プログラム実施
サークルおてんとさん	実行委員会の委員として、ともに協議、プログラム実施
3Rの会(ごみ対策)	実行委員会の委員として、ともに協議、プログラム実施
NPO法人宙塾	実行委員会の委員として、ともに協議、プログラム実施
サークルFeelink(近畿大学学生サークル)	実行委員会の委員として、ともに協議、プログラム実施

## 0. アクティビティについて

### 選んだ理由 (2014より)

- ・動きがある活動で、児童が体験することで気づきをうながせるもの。
- ・小学校での実施であるので、授業の内容を踏まえて実施できる。
- ・温暖化との関係をもりこみやすいもの
- ・児童が協力し、意見を交換しながらとりくめるもの。
- ・室内で実施できるもので、20分程度で実施可能なもの

### ○動物ヒントリレー (クマ、ペンギン、カメ、クワガタ)

- ⇒・やる気を起こさせる動きがある活発な活動
  - ・グループで相談して、答えを導き出す合意形成の活動である (生活班を活用)
  - ・ヒントの中に、温暖化に関する内容をもりこみやすい。

### ○ネイチャーループ

- ⇒・カード同士 (自然界のもの) には、色々なつながり方があることに気づける
- ・自分たちが一つにつながることで、何かが欠けるとつながりが壊れることが、具体的にイメージできる
- ・つながりを考える時に、手をつないだグループやつなごうとしているグループと相談して、お互いに納得し合って (合意して) つながる。

## ECO キッズ プログラム実践計画書

実施日	2014年〇月〇日	学校名	〇〇小学校
実施時間	〇時間目～〇時間目	担任教員(敬称略)	〇〇、〇〇
クラス数	〇クラス	人数	〇名、〇名
指導員数	2名	個別プログラム	動物ヒントリレー
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時間 〇時間目〇時〇分～〇時〇分、〇時間目〇時〇分～〇時〇分</li> <li>・〇時〇分ごろに職員室へ声をかける。</li> <li>・班は、生活班を活用(4名～5名)</li> <li>・教室の後ろ部分で実施。机は、ハの字型にしてやや前よりにする</li> <li>・パソコンのセッティングとDVDの動作確認は、あらかじめ先生にお願いしておく</li> <li>・車1台でいく予定</li> </ul>		

### ●当日の流れ

時間	アクティビティ	場 所	指導上の留意点/ねらい
0:00 0:02	あいさつ 動物ヒントリレー	教 室	班ごとに、カードの書いてある断片的な生き物のヒントをもとに、何の生き物かグループで協力して推理して当てる。生き物は4つで、ヒントは全部で28枚(7枚×4)ありませう。 (クマ、ペンギン、カメ、クワガタ) 説明は、デモと掲示にて行う。 準備物：ロープ、ヒントカード、掲示用説明、磁石
0:18	答え合わせと まとめ		班で、最終の答えを決めて、メモに書き発表する。 ヒントと生き物を確認して答え合わせ ・生き物の特徴を確認、温暖化との関係の説明 準備物：筆記用具、メモ用紙
0:23	私たちのくらしと エネルギー		DVDを見ながら、スライドに合わせて解説する スライドに合わせて、適時児童に発表してもらう。 (場所や座り方によって、班もしくは個人) 準備物：テレビ、パソコン、DVD、地球儀、
0:43	まとめ		チャレンジシートの説明など
0:45	終わりの挨拶		

NG準備物：ロープ、ヒントカード、掲示用説明、

学校準備物：テレビ、パソコン、DVD、掲示用磁石、地球儀、メモ用紙(解答用グループに1枚)

児童準備物：(筆記用具、つかわなくても可)

メ モ